

2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	2	学年	1	コース	教養フロンティア 健康スポーツ
								必修・選択	必修（芸術選択）
使用教材	教科書	教育出版 新編 書道Ⅰ							
	副教材	参考資料（古典、詩、短歌、俳句等）のプリント							

学習目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたって書を愛好する心情を育てる。鑑賞と表現の基本的な能力を伸ばし、感性を高め、書写能力を向上させる。書道文化について理解を深める。

学習方法

- ・用具・用材に関する基本的知識や扱い方理解し、表現に応じて使い方を工夫する。
- ・古典に基づく学習から各書体の特徴を理解し基本的な用筆法を学ぶ。
- ・字形、線質、全体構成をとらえ表現できるよう、添削された作品から課題を見つけ反復練習する。
- ・多様な書風の違いに関心を持ち古典の美を鑑賞する中で、感性を働かせながら創造的な表現法を身につけていく。

学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・書体の違いや、字形の取り方に関心を持ち、その表現を身につけようとしているか。 ・毎時間の練習において意欲的に取り組んでいるか。 ・よりよい作品になるよう向上心を持ち、字形・線・構成を追求しているか。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・制作意図を明確にし、工夫した自己表現ができているか。
③技能	<ul style="list-style-type: none"> ・書体や字形、書風の特徴をとらえ、形式に応じた書き方ができているか。
④知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・各書体の特徴や多様な表現法を理解する。

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
課題の取り組み	◎	◎	○	◎	
課題提出	○	◎	◎	○	
作品の完成度	◎	◎	◎	○	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです

※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

学習方法等のアドバイスなど

書道で使われる用具用材の特質や扱い方に慣れ、古典をもとにした鑑賞と表現から基本的な用筆法、運筆法を反復練習する。添削された作品から毎時間の自分の課題を明確にし作品制作に取り組むことが大切になります。多くの古典作品を鑑賞しその良さを感じ味わうことで、多様な表現があることを知り表現の中を広げていきましょう。

年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	オリエンテーション 楷書の学習	用具用材の扱い方の理解 評価や課題についての理解 古典に基づく学習法の理解 楷書の特徴の理解と用筆法、運筆法、 結構法を習得することで多様な表現法 を身につける	学習活動： 用具用材の基本を知り、その扱い方を学 ぶ。 古典とは何か、臨書とは何かを知る。古 典の特徴に気づき臨書を通して多様な表 現法を習得する。添削などを通して、毎 時間の課題を意識して練習する。グルー プでの相互鑑賞から自分の課題を見つけ る。改善点を見つけまとめの臨書をし作 品を仕上げる。 篆刻では篆書の特徴を知り、篆刻の刻り の手順を理解しながら印を完成させる。 【評価方法】(年間)： ・毎時間の課題において基本的な内容を 理解し、その習得のための練習に打ち込 めているか ・作品制作においては基本的技法をもと に自己表現しようとしているか ・四つの観点に基づき総合的に評価する
2 学期 30単位時間	行書の学習 仮名の学習	行書の特徴の理解と基本の用筆法、運 筆法、結構法を習得することで、創造 的な表現をするための効果的な表現技 能を身につける 仮名の基本である平仮名、変体仮名、 連綿を理解し、仮名のリズムをつか み、流動感、律動感の基礎を養う	学習活動： 用具用材の基本を知り、その扱い方を学 ぶ。 古典とは何か、臨書とは何かを知る。古 典の特徴に気づき臨書を通して多様な表 現法を習得する。添削などを通して、毎 時間の課題を意識して練習する。グルー プでの相互鑑賞から自分の課題を見つけ る。改善点を見つけまとめの臨書をし作 品を仕上げる。 篆刻では篆書の特徴を知り、篆刻の刻り の手順を理解しながら印を完成させる。 【評価方法】(年間)： ・毎時間の課題において基本的な内容を 理解し、その習得のための練習に打ち込 めているか ・作品制作においては基本的技法をもと に自己表現しようとしているか ・四つの観点に基づき総合的に評価する
3 学期 18単位時間	篆刻の学習	篆書の特徴についての理解 篆刻の用具用材の扱い方の理解 篆刻の種類(白文、朱文)、印稿、布 字、運刀法の基本の理解し印を完成さ せる。	学習活動： 用具用材の基本を知り、その扱い方を学 ぶ。 古典とは何か、臨書とは何かを知る。古 典の特徴に気づき臨書を通して多様な表 現法を習得する。添削などを通して、毎 時間の課題を意識して練習する。グルー プでの相互鑑賞から自分の課題を見つけ る。改善点を見つけまとめの臨書をし作 品を仕上げる。 篆刻では篆書の特徴を知り、篆刻の刻り の手順を理解しながら印を完成させる。 【評価方法】(年間)： ・毎時間の課題において基本的な内容を 理解し、その習得のための練習に打ち込 めているか ・作品制作においては基本的技法をもと に自己表現しようとしているか ・四つの観点に基づき総合的に評価する